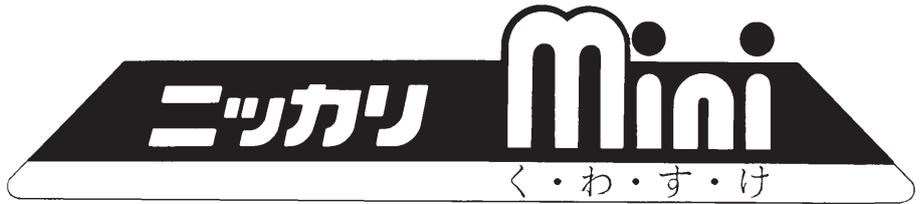


CL-26A



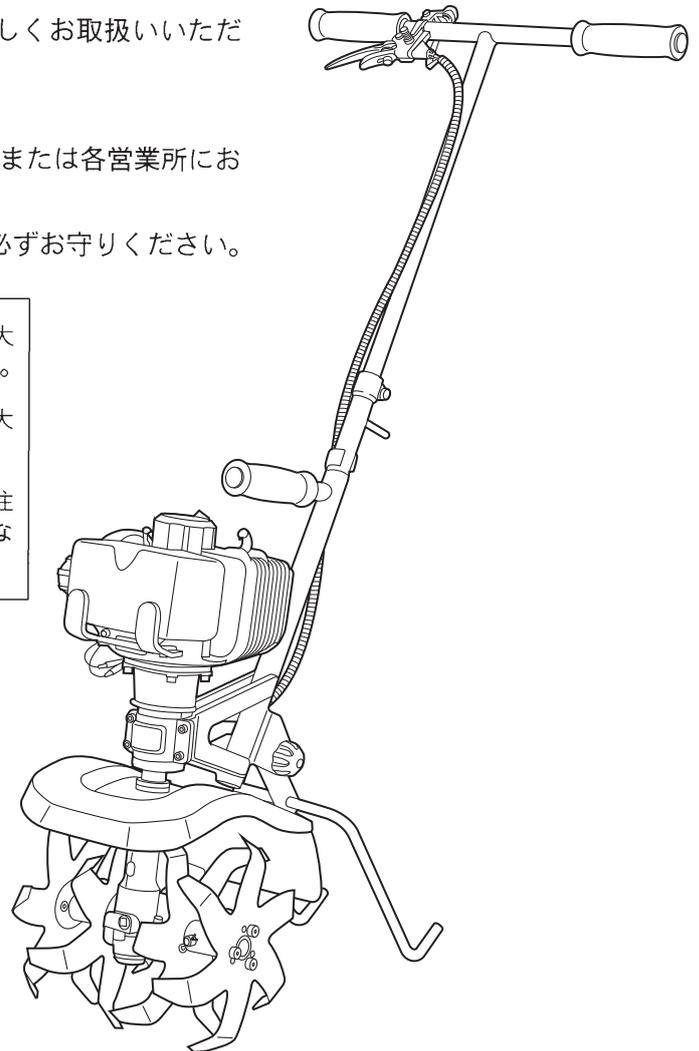
安全取扱説明書

超小型管理機

このたびはニッカリ「くわすけミニ」をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- この安全取扱説明書は安全快適に使用していただくために、下記目次の順にて説明しています。
ご使用のまえには必ず熟知するまでお読みのうえ正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
お読みになったあとも、必ず保管してください。
- 部品のご入用、故障の場合には、お買い求めの販売店または各営業所にお問い合わせください。
▲のマークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

▲ 危険	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。
▲ 警告	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。
▲ 注意	安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。



も く じ

- ・安全にご使用いただくために P. 2
- ・各部の名称、仕様 P. 3
- ・組立・調節・操作と注意 P. 4
- ・日常点検、長期保管 P. 5

▲ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に必ずこの安全取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 ● 安全取扱説明書は大切に保管してください。
------	--

安全にご使用いただくために……

ご使用前は

・ 説明書をよくお読みください。

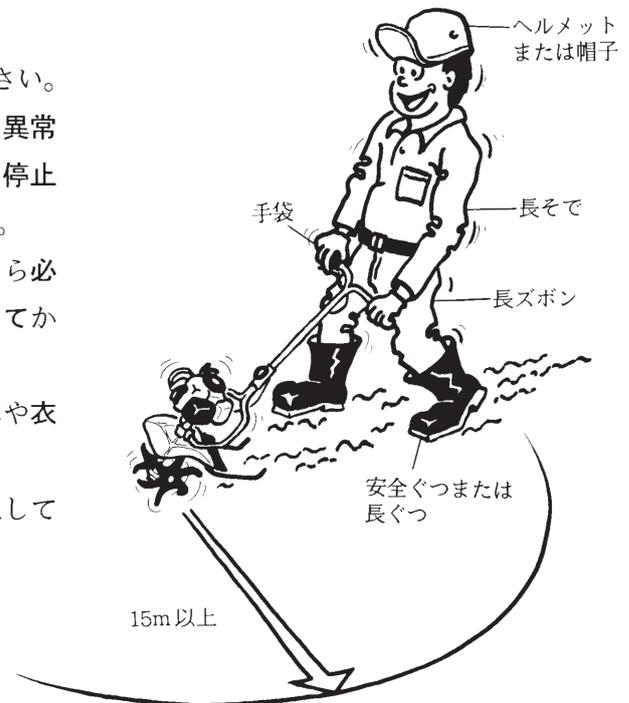
- ⚠️ **警告** ・ 小さいお子様や説明書を理解していない人には、絶対に運転させないでください。
- ⚠️ **注意** ・ 「巻き込まれ防止の為」、服装は作業に適した、すそじまりのよいものを着用してください。
 - ・ 機械はいつもきれいにし、草などがからみついたり、石などがはさまっていないか、異常がないか点検してください。

燃料について

- ⚠️ **注意** ・ 燃料は混合燃料です。「2サイクル混合ガソリン」を使用してください。
- ⚠️ **注意** ・ 燃料は引火しやすいので注意して取扱ってください。
- ⚠️ **注意** ・ 燃料補給や保守点検のときには、タバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。
- ⚠️ **注意** ・ 燃料補給は必ずエンジンを停止させてから行ってください。

ご使用中は

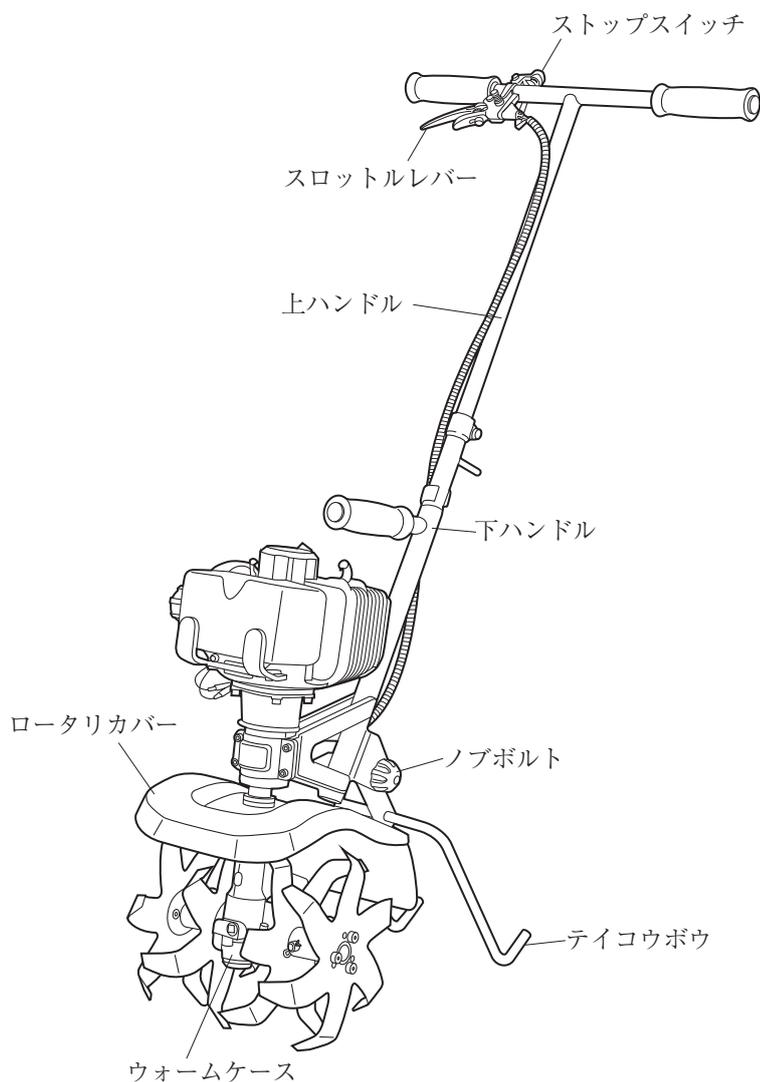
- ⚠️ **注意** ・ 15m四方に人がいないことを確認してからエンジンを始動してください。
- ⚠️ **注意** ・ 足もとや周囲に充分注意して作業してください。
- ⚠️ **注意** ・ 石や切り株に当たり衝撃を受けたときや、異常を感じたときは、作業を中止しエンジンを停止させて異常の有無を点検確認してください。
- ⚠️ **注意** ・ 草がからまったり、石がはさまったりしたら必ずエンジンを停止させ刃物の回転が止まってから取り除いてください。
- ⚠️ **危険** ・ 回転しているツメには、手はもちろん身体や衣服を近づけないでください。
- ⚠️ **注意** ・ 本機を持上げる時は、必ずエンジンを停止してからにしてください。



ご使用後は

- ・ **点検・整備** (5ページ) の項目をご参照ください。
- ⚠️ **警告** ・ もし破損部品などが見つかりましたら、必ず最寄りの販売店で指定の純正部品にて修理してください。

各部の名称



仕 様

▼ 主要諸元

型 式	CL-26A	
寸 法	全 長	900 mm
	全 高	600 ~ 970mm
	全 幅	480 mm
重 量	11 kg	
減 速 比	1 : 35	

▼ ロータリ

ロータリ直径	230 mm
W 爪 時	240 mm
シングル爪時	160 mm

▼ エンジン

型 式	TU26PFD
排 気 量	25.6cc
最大出力	1.4 ps
気 化 器	ダイヤフラム式
使用燃料	2サイクル混合ガソリン
点火方式	M.T.I. (電子)

組立・調節・操作と注意

◆ハンドルの組立 (図1)

ウエハンドルのストッパーを押しながら、シタハンドルに差し込み、ストッパーをストッパー穴の位置まで押し込み、ハンドル固定レバーを締めます。

◆ハンドルの高さ調整 (図1)

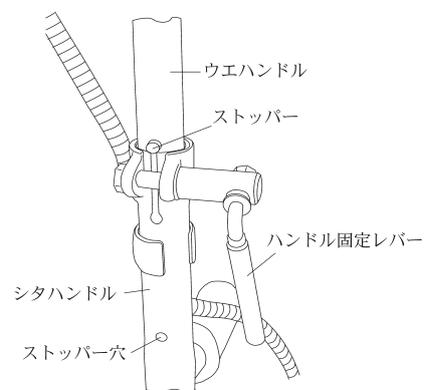
ハンドル固定レバーをゆるめ、ストッパーを押し、ハンドルの高さを上下に調整し、使いやすいところでハンドル固定レバーを締めます。

◆スロットルレバーの調節 (図2)

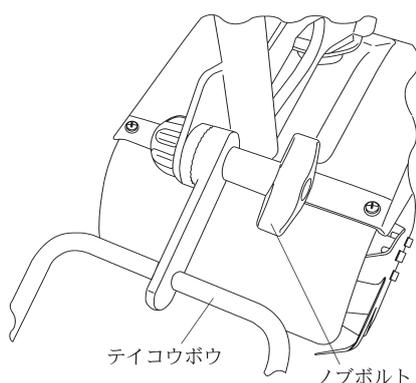
①エンジンの回転が低い場合はレバーをにぎってアジャスタナットをゆるめ、アジャスタを締込んで回転を上げてください。

◆テイコウボウの位置調整 (図3)

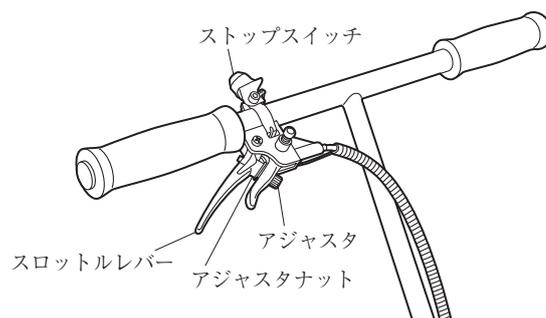
ノブボルトをゆるめテイコウボウを使いやすい位置にもっていき、ノブボルトを締めます。



(図1) ハンドルの組立



(図2) ハンドルの高さ調節



(図3) スロットルレバーの調節

◆操作と注意

- ・土のやわらかいところでロータリが地中にもぐる場合は、エンジンの回転を上げてハンドルを上げる感じで使用してください。
- ・土のかたいところでは、ハンドルを下に押さえる感じで使用してください。
- ・深く耕したいときは、2～3回繰返し使ってください。

⚠ 注意 ・作業中に、機械が転倒したり、障害物があったりして、危険な場合は、スロットルレバーをはなせばロータリの回転は停止します。

◆自動車で運搬するときの注意

⚠ 危険 ・燃料タンクから燃料を抜いてください。

- ・機械を横に倒す場合は、排気側（マフラ）を下にしてください。

⚠ 危険 ・機械（特にエンジン）が冷えてから自動車に積んでください。（使用後すぐに積むと火災の原因になります。）

始動・運転・停止

1. 始動

別紙エンジンの取扱説明書をお読みください。

2. 停止

スロットルレバーを放してエンジンの回転を落とします。
ストップスイッチをエンジンが停止するまで押し続けてください。

日常点検・整備・長期保管

⚠ 注意 点検・整備

始動前に必ず点検を行ってください。

①ツメの損傷、偏摩耗はないか。

⚠ 注意 ②ツメ取付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷はないか。

③各部に油もれはないか。

④エアクリーナエレメントは汚れてないか。

⑤燃料は充分あるか。

※その他複雑な調整・修理は購入代理店にご相談ください。

⚠ 注意 《点検整備表》

	毎日	20時間	50時間
ボルト、ナットのゆるみ	○		
燃料もれ	○		
プラグの清掃、調整		○	
エアクリーナエレメント清掃		○	
ギヤケースのグリス補給		○	
スロットルワイヤの調整			○

＜注意＞ 機械の寿命は、手入れの良否によります。上記の表の項目について点検整備を行ってください。時間数は標準的な目安ですので、負荷状態や使用環境によって適宜増減してください。

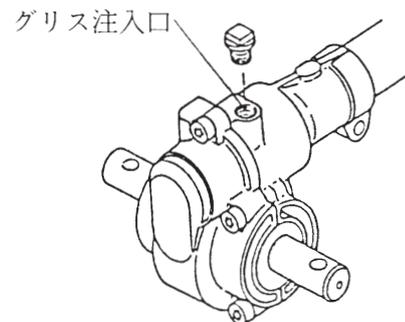
グリスの注入

グリスはエッソのリスタンEP2相当のものを20時間毎に補給してください。

①グリス注入口のボルトを取りはずす。

②グリスを注入する。

③グリス注入口のボルトを取りつける。



長期保管

①2週間以上使用しない場合は、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出してください。

②キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ低速のまま、自然にエンジンが停止するのを待ちます。

③エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取除いてください。

④点火プラグ取付穴より2サイクルオイルを数滴注入し2~3回コイルスタータを引っ張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着してください。

⚠ 注意 ⑤エンジンが充分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気やほこりの少ない場所に保管してください。

